

富士見市公民館運営審議会（鶴瀬地区）議事録

会議の名称	令和2年度 第1回 鶴瀬地区公民館運営審議会
開催日時	令和2年8月21日（金）午後7時～8時15分
会場	鶴瀬公民館 第2集会室
出席者	神木基晴 小谷千佳子、小林勝夫 鶴瀬公民館長 事務局 （合計5人）
欠席者	長ヶ原美博 （1人）
議事録確認	議長
公開・非公開	公開（傍聴人0人）
次第	○議題 ・公民館事業の報告 ・今期の鶴瀬地区公運審の議題について
会議内容	
<p>○議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館事業の報告 <ul style="list-style-type: none"> 事務局より、コロナ禍で制限を設けている中での公民館活動について説明を行った。主な内容としては、①小学生を対象とした夏休み体験事業の報告、②9月に予定している利用者懇談会、③10月に延期開催予定をしている公民館まつりの三役会報告、について。その他、定例的に行っている子育てサロンやパソコン教室について行った。 ・今期の鶴瀬地区公運審の議題について <ul style="list-style-type: none"> 前期は、「動く公運審」をテーマに、4館共通でコウミカンカフェについて取り組んできた経緯を踏まえ、今期のテーマについて委員より意見を徴した。 <p>【議長】 前期は共通のテーマがあった。公民館カフェを公民館のイベントと合わせて行ってきたが、せつかく形になってきたので、今後も継続していけたらと思っているが、コロナの影響により飲食を伴う活動は難しい。また、鶴瀬公民館も12月から工事のため休館となる。今年度は活動を行うというより、意見を出しながら話し合うことに重点をおくのが良いのではないかな。</p> <p>【委員】 活動が自粛されているため、動きづらいのが現状である。今年度というよりは、来年度に向けたものを考えていきたい。</p> <p>【委員】 今は、何をやるについても「コロナ」が出てくる。非常に強く感じていることだが、コロナの捉え方が人により様々であり、自粛についても対応は人それぞれ。そのため、行動するときの難しさを感じている。</p>	

【事務局】 今年、コロナの影響で学校も夏休みを短縮している。夏休みの1週目に小学生を対象とした「夏休み体験事業」で土器や埴輪づくりを行った。人数制限や検温など、感染対策を行いながらの実施であったが、事前申し込みの問合せでも、コロナ対策について聞かれるケースがあり、様々な場面で配慮が必要だと感じた。

【委員】 「富士見の公民館」の中で、鶴瀬公民館の事業をみた。現在、子どもを対象に英語をツールとした学習の場の手伝いをしている。鶴瀬公民館でも子供の事業が行われているが、クリスマス会など季節行事などと合わせると、非常に盛り上がる。小学生や中学生の楽しむ姿に、こちらも元気をもらっている。公民館利用者の方も、高齢者の方が多いのであれば、小学生などの子供が来館すると、活気がでるのではないか。

【委員】 ハロウィンなどは、今は多くの人を知るイベントとなっている。今年は開催中止だが、例年ふじみ野駅周辺で飲食店と連携しハロウィンのイベントを行っている。例えば、鶴瀬公民館は、商工会と隣接しているので、連携を図ったイベントなどは、地域活性化につながっていくのではないか。

【委員】 鶴瀬公民館は、他の公民館やコミセン、交流センターと異なり、施設にホールがあるという特性がある。ホールを活用した公民館事業をもっと活かせると、鶴瀬公民館の特性を活かせるのではないか。

【委員】 持ち合わせている様々な資源を活かして、特色を出していけるとよい。商工会や商店街との連携やホールの活用を、今後の事業展開のテーマとしてもよいのではないか。

【委員】 今は、みんなで何か行うということは、「密」という観点から好まれない。「3密を避ける」ことは、しばらくの期間継続されることが想定される。そのような中でやれることを考えると、個人でやれることの推奨、個人でやれる場の提供など、コロナ禍での施設の使い方や公共施設の在り方を考えることもいいのではないか。

【委員】 個人でやれることにつながると思われるが、学びができる場所の提供を公共施設が行えるとよい。密にならなければ活動の範囲は広げられるので、公共施設の一部を開放スペースとして、市民に提供することもよいのではないか。

【委員】 公民館の建物のつくりを活かすという観点から、中庭の活用もある。屋内だと換気の必要性があるが、今後少しずつ制約が緩和されたときに、屋外の中庭の活用も視野に入れて、事業などを考えていけるとよい。

今期のテーマについては、引き続き協議とし、本日出た意見（案）についてまとめる。今後のスケジュールについては、9月末に正副議長打ち合わせを行い、10月に全体会を行う旨伝え、了承を得る。